

●インフルエンザワクチン

■コロナワクチンとインフルエンザワクチン：

コロナワクチンの接種が加速するなか、10月よりインフルエンザワクチンの接種が始まります。昨年はインフルエンザの流行はありませんでしたが、コロナウィルス感染症とインフルエンザの臨床症状が似ているため、鑑別診断が必要です。そのため発熱のある方はインフルエンザテストとPCR検査の両方が必要になります。

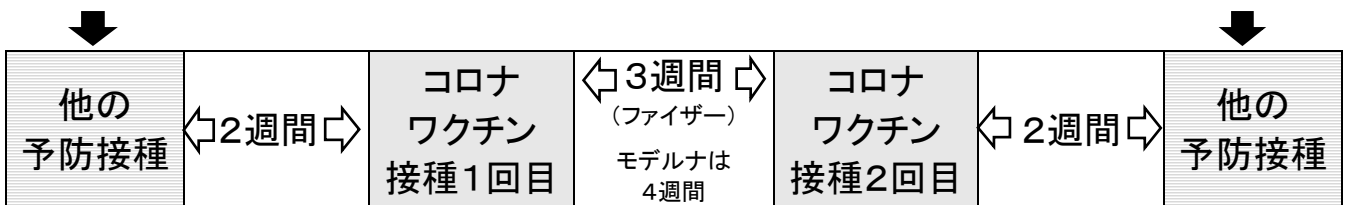
今後しばらくはコロナウィルスの変異株と付き合わなければなりません。そのためにもインフルエンザワクチンの接種を推奨します。

■コロナワクチンと他の予防接種との間隔：

①コロナワクチン接種の1回目と2回目の間にインフルエンザなどの予防接種はできません。

ファイザーの間隔は3週間、モデルナは4週間です。

②コロナワクチンとインフルエンザワクチンなどの予防接種との間隔は前後2週間以上空ける必要があります。1回目のコロナワクチン接種から数えて、2回目との間隔の3週間と2回目終了後の2週間を併せて5週間後（モデルナは6週間後）にインフルエンザワクチンの接種ができます。また2回目のコロナワクチン接種が終了していれば、2週間をおいてインフルエンザワクチンを接種できます。



■優先順位は：

①コロナワクチン未接種の方はコロナワクチンを優先して受けてください。コロナワクチン接種の2回目終了後、2週間をおいてインフルエンザワクチンを接種できます。ただし、コロナワクチン接種の予約が2週間以上先の場合にはインフルエンザワクチンを接種してください。

②すでにコロナワクチン接種を終えた、高齢の方、基礎疾患のある方などは積極的にインフルエンザワクチン接種をしてください。